

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 09-01-04	事務事業名 高齢者アパート事業費	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	---------------------	------------------------

施策コード 安1-1	施策名 住みやすい住環境の創造	施策目標 市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	民間賃貸集合住宅を借り上げて、高齢者アパートとして、住宅に困窮している高齢者に提供することで、高齢者の生活の安定を図る。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	民間借上げアパートは4箇所で建物の概要は次のとおりである。 ①松和マンション ひばりが丘北2-5-8 昭和47年建築 戸数8 ②長寿荘 芝久保町3-2-9 昭和60年建築 戸数10 ③寿荘 向台町3-1-11 平成12年建築 戸数10 ④第2寿荘 向台町3-1-11 平成11年建築 戸数10 合計38戸を管理している。入居対象者は①満65歳以上の高齢者のみで構成されている世帯 ②所得額が2,568千円以下であること③市内に引き続き2年以上居住していること等の要件がある。東京都の補助金については平成22年度からは廃止されたため、予算の確保が厳しい状況となっている。	
	事業開始時期	昭和60 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		28,603	33,412	27,265	27,708
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		4,992	1,788	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ( )		2,923	3,267	3,673	3,838
一般財源		20,688	28,357	23,592	23,870
所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,450	2,424	2,424	2,450
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	31,053	35,836	29,689	30,158
単位当たりコスト(E)=(D)/(高齢者アパート戸数)	千円	817	943	781	794

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 高齢者アパート戸数	実績値 戸	38	38	38	38
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 高齢者アパートは市内に松和マンション、寿荘、第二寿荘、長寿荘の4箇所があります。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 戸数に対し入居100%を目標	目標値 戸	38	38	38	38
	実績値 戸	29	33	32	38
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 近年、高齢者が希望する住宅は、居室スペースにゆとりを求めるニーズがあり、より良い希望条件に適合したアパートを希望するため、入居状況は横ばい傾向となっているのが現状である。入居戸数は、年度末の戸数で計上している。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	高齢者アパートの入居者から安全対策の一環として、緊急通報システム設置の導入を望む意見が多くある。				
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	都内26市のうち12市が民間借上げアパートの事業を実施しているが、実施内容、アパートの規模等に違いがある。			
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	都内26市のうち17市で民間借上げアパート事業、高齢者民間賃貸住宅あつせん事業等を実施している。			

事業コード 09-01-04	事務事業名 高齢者アパート事業費	所管部課 都市整備部 都市計画課
-------------------	---------------------	------------------------

施策コード 安1-1	施策名 住みやすい住環境の創造	施策目標 市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。
---------------	--------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>この事業は、65歳以上の高齢者を対象とした事業であるにもかかわらず、緊急通報システムやバリアフリーの整備がされておらず、また長寿荘、寿荘は風呂が無いなど、高齢者に配慮した住環境となっていないのが現状である。</p> <p>募集を行うと、高齢者ニーズの多様化で倍率の低いアパートもあるが、本事業の目的である高齢者に対して安定した生活ができる住居を確保している点については、在宅支援の観点から必要と考えている。</p> <p>本事業は昭和60年度に事業開始され26年が経過しているが、入居者の高齢化等により、介護等の問題が深刻化しているため、関係部署と連携を図りながら対応していきたい。また、維持管理コストの面から、高齢者アパート事業の具体的な方向性についても検討する時期にきている。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

一次評価:  拡充  継続実施  改善・見直し  抜本的見直し  休止  廃止

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>高齢者アパートについては、バリアフリー化への対応や風呂の未設置など必ずしも利用者のニーズにあったものとはなっていないため、庁内検討会での検討結果を踏まえて、そのあり方を見直す必要があると考える。その際には、他市の対応を研究し、入居者の高齢化に配慮した対策を実施するとともに、福祉部門と連携した見守りネットワークの整備についても検討されたい。また、入居率の向上のため、現状で年に1回行っている募集のあり方についても併せて検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方の相手方	1	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

二次評価:  拡充  継続実施  改善・見直し  抜本的見直し  休止  廃止

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢者アパートについては、二次評価でも指摘されているように様々な課題を抱えていることを踏まえ、庁内に検討委員会を設置して将来的な対応を検討しているところである。第三次行財政改革の重点課題として取り組んでいる「公共施設の適正配置・有効活用」における主要な課題の一つと捉え、市営住宅への集約化を推進するとともに、バリアフリー化をはじめとした利用者ニーズに即した設備内容、周辺環境や併設機能、利用者の負担等についても併せて整理されたい。</p>